



ふれあい

平成31年1月

編集・発行 東金市民生児童委員協議会(事務局:東金市社会福祉協議会 ☎52-5198)



各種団体と連携して地域福祉活動を実践



ちょっとした困りごとにも耳を傾けます



子育てサロン活動に協力する主任児童委員



お話をしながら、ご様子を伺います

皆様、あけましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。平素は、民生児童委員・主任児童委員活動に対し暖かいご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。本年は改元の年になりますが、民生児童委員も任期3年の節目の年を迎え、一斉に改選される年となりました。皆様の地区の民生児童委員の選出に当たっては、現在、民生児童委員として活動され、継続して任務に当たられる委員も含め、皆様の地区の福祉活動に合い、相応しい方をお選びいただくようお願いいたします。地区の皆様が選び頂いた候補者について、区長が市長に推薦することとなっています。そのうち市、及び県の審議を経て国が委嘱者を決定します。わたしたち民生児童委員協議会は、委員相互で連携を図りながら市民の皆様のある暮らしの相談役としてお役に立てよう努力してまいります。また、東金市でも急速にすすむ高齢化を見据え、市の福祉行政に協力し皆様にとってより身近な存在となるよう努めてまいります。



東金市民生児童委員協議会
会長 佐久間 一 夫

東金市民生児童委員名簿

任期：平成28年12月1日～平成31年11月30日

平成31年1月1日現在

担当地区			氏 名	電 話	担当地区			氏 名	電 話
東金東地区					丘山地区				
					大和地区				
					正気地区				
東金西地区					豊成地区				
					福岡地区				
					源地区				
公平地区									

※ は地区会長

民生児童委員ってこんな人

「民生児童委員」は、「民生委員法」・「児童福祉法」によって国から委嘱を受け、地域住民の皆様が生活をする上での心配ごとや不安に対し、解決・解消に向け、さまざまな相談にのり、地域福祉の向上のために福祉活動を行なっています。また、民生児童委員の中には、児童のことを専門に担当し、活動している「主任児童委員」もいます。民生児童委員は、地区に必ず一人は配置されており、現在東金市全体では、108名（定数109名）が活動を行なっています。

- 心配ごとや不安などの相談役
- 高齢者世帯への声かけや見守りなどの支援
- 児童問題の予防・解決活動
- 市や社会福祉協議会の福祉事業への協力
- 行政機関との連絡活動



在宅介護で大変な方

一人暮らしの生活が
心配な高齢の方



家庭内暴力に悩んでいる方

一人で悩まずに気軽にご相談ください！
相談上のプライバシーは絶対に守ります



子育てに悩んでいる方



日常生活に困っている方

心配ごと相談所

日常生活の中のちょっとした困りごとを
ご相談ください

日時：毎週火曜日

（祝日の場合は翌日）

午後1時30分～午後5時

場所：ふれあいセンター1階

（東金市田間3丁目9番地1）

☎ 52-5198（社会福祉協議会）

こんなことに気づいたら
「主任児童委員」に
相談して下さい！

- ◎親が、子どもをせっかんしている。
- ◎近所の子どもが学校に行かずに朝から遊んでいる。（ひきこもっている）
- ◎子育てに悩んでいる方がいる。
- ◎親子関係に悩んでいる方がいる。



子育て中のパパ、ママを応援しています。

子育てサロン「ぽっぽ」

開設日 毎月第3木曜日

時間 10:00～11:30

場所 ふれあいセンター和室



3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月	行事報告
1 会長会	6 13 地区民協 1 会長会	25 11 全体研修会 会長会	7 会長会	28 14 地区民協 2 会長会 研修部会	25 26 PR企画部会 19	28 27 PR企画部会 21 主任児童委員部会 7 会長会 全体研修会	24 1 PR企画部会 研修部会	19 18 地区民協 6 会長会 主任児童委員部会	19 13 PR企画部会 1 会長会 全体研修会	17 研修部会	20 19 定期総会 10 主任児童委員部会 6 会長会 監事監査	

お問い合わせ先

東金市市民福祉部社会福祉課社会係
社会福祉法人東金市社会福祉協議会

☎ 50-1233

☎ 52-5198

東金東地区



息子を語る詐欺電話

2月末の日曜日、夕食が済んでホッとしていた時です。遠くに住んでる息子（次男）から電話で、「迷惑メールが頻繁にくるので、携帯番号変えた方が良く」と言われ変えたから」と言う連絡でした。折り返しその番号に電話して納得しました。（後で考えると息子の家の固定電話にかけるべきでした）

その後直ぐ又息子から電話があり、「母さん〇〇です」と息子を名乗り「出張で勝浦にいる。明日母さんの所に寄るから」と、その日の電話は切れました。時々東京には出張で来ますが、何で勝浦なのか不思議に思いました。

次の日なかなか連絡が来ないので、こつちから電話、息子は「風邪を引いたので病院に寄ってから行く」と「知らない所の病院に行かなくてもこつちに来なさい」と言いました。そうこうしている内に「母さんだけに話すけど、借金した。今日中に払わないと大変なことになる」と言うのです。会社の役員に勧められて投資した。事業をするため

ともっともらしい話です。ともかく今日中に返済しないと逮捕される。サラ金から借りる。果ては自殺しないでしょうか無い。

切羽詰まった声で言ってきました。

そう息子に言われればその気になり、お金を用意するしかありません。おかしいと思った長男は指定された場所迄一緒に来てくれる事になりました。

東京駅の郵便局でお金を払い戻す手続きをしていたら、100万円以上の場合には理由をお聞きすることになっていきますと、個室に案内され、昨日からの息子を語る電話の詳細を話したら、直ぐに「詐欺」ですよと言われ、息子の元の携帯番号に電話したら、出張はしていない、普段通り仕事している事が分かり、やっと詐欺だと納得しました。

私服の警察の方が見えて、一緒に指定場所まで待ちましたが、息子の代理人も偽息子も現れませんでした。

電話番号変えた、お金を借りたは嘘、詐欺です。切羽詰まった泣き声も要注意。郵便局の適切な対応が無かったらお金を渡してしまったかもしれません。

（飯田 朝子）

東金西地区



視察研修に参加して

本年も事業計画に伴い、第5回西地区の視察研修を実施しました。始めに八街少年院を訪問し担当課長の説明を受け院内を見学しました。非行を犯した少

年は家庭裁判所へ送致され各審査の結果、少年院での矯正教育が行われます。国内は全て国立で、初等・中等・特別・医療の4種類で、県内は市原学園と2か所あり平均数か月で退院となるそうです。該当年齢は12歳から26歳迄となっております。

午前中に伺いましたが、院内はヒソソリとしていて入所者のいる様子がありません。実は収容人数は150名で、以前は132名居たそうですが、ここにも少子化の影響で、現在の収容は42名とのことでした。

7月の地区民協会議にて、教育委員会の方から、知る限りここ2年間は東金市から送致された子は無いとのことでした。

入退院を繰り返す方も多いようですが、二度と入らない様に心に誓い努力して欲しいと思います。

地域の方々は暖かい気持ちを持って見守って頂きたいと思えます。お互い頑張りましょう。

その後、佐倉市にて老舗の蕎麦屋さんで昼食を頂き、次の目的地に向かいました。

成田市の宗吾霊堂ですが、皆さん初めての方が多く、郷土の偉人を知る事も大切です！

市内帰着後の反省会を開催した事は言うまでもありません。

（落合 孝夫）

公平地区



高齢化地域の見守り

公平地区は、高齢化が進み一人暮らしの高齢者も多い地域になってきました。

買い物や通院などの日常生活にも不便な環境である為に、住みやすい地域へと引越して行くケースも出ています。

「こんにちは。お変わりございませんか？」訪問先で足腰が弱って、庭や畑の草取りを昔のように出来ないようにしている事など、最近の様子を伺っていると、頭が下がる思いです。

またある時は、一人暮らしの女性の方から、「すぐ来てくれる？」と連絡を受け駆けつけてみると、かなりつらそうな状態を目にしました。急いで救急車を呼び病院に。しかし、その3日後には帰らぬ人となってしまったのです。お風呂場で転んだのが原因でした。悲しみと後悔で忘れられません。この事があってからは、「お風呂は気を付けて」と声掛けするようにしています。

今後の更なる高齢化社会、そして災害時の対応の事も含めて、地域社会のあり方を考えていかなければならないでしょう。

いつまでも安心して住み続けたいと思える地域になるよう願います。

がら、出来る事から少しずつ携わっていきたいと思っています。

丘山地区



活動の中から

今年の活動の中で良かったことと残念だったことを振り返ってみたいと思います。

先ず良かったことは、福祉バザーへの取り組みです。これまで自分の地区からの福祉バザー提供品について、少なすぎて残念だと思っていました。今年のバザーに対しては幸いなことに、私は地区の区長代理も務めています。そこで、福祉バザーへの提供品の協力を回覧板で何度か呼びかけました。すると、例年の三倍位の提供品が集まりました。6月17日の福祉バザーの売り上げは約240万円で、昨年より29万円位増えたそうです。この増加に少しは貢献できたのかなと思います。呼びかけによって福祉の心の輪が広がったのも大きな成果でした。

次に残念であったことに触れます。一つは担当地区の一人暮らしの高齢者の方が知らないうちに亡くなってしまっていたことです。2月から3月頃一人暮らしの高齢者の調査をしますが、その際お会いした方が亡くなってしまっていたのです。市の方でも横の連携を図り、民生児童委員にも知らせていただけるしくみづくりはできない

民生児童委員の声

各地区の民生児童委員のみなさんから寄せられた記事です。
各地区活動の一部をご紹介します。

いものでしょうか。もう一つ残念なことは、敬老のお祝い品を渡す方が100歳だけになってしまったことです。今年88歳で楽しみにしていた方も多いのではないのでしょうか。

ちよつと残念なこともありましたが、これからも社会福祉の推進のために少しでも役立つように活動していきたいと思っています。

太和地区

肩の力を抜いてみましょう

子育ては、24時間365日休みなしで大変です。実は大変にさせているのは自分かもしれません。五体満足で元気に生まれてくれればいいと願った妊娠中を思い出すと、少し欲張りになっていませんか？多くの人がそうだと思います。こんな風に育ってくれたらいいなど願う理想。それは、お子様のためと言いつつ、実は自分のためだったりしませんか？

子育てに正解は無いと言います。お子様一人一人個性があります。そのため、情報（育児本やインターネット）やほかの人の体験談を沢山集めても正解にはたどりつかないのです。正解を見つけ完璧を目指そうとすると無駄に力が入りすぎてしまいます。現在の子育ては、子育てに関する色々な情報が多く、本当に必要な情報を探すことが大変です。

核家族化が進み、親の負担も増えています。ほとんどのママが色々な悩みを抱えているのです。頑張つて力が入りすぎているママたちへ。

もう十分にお子様のために頑張っています。子育てに悩んだり、困った時は自分だけで抱え込まず、地域の施設や、周りの人たちの力を借りながら、お子様と向き合っていきましょう。子育て中は息抜きも大事です。息抜きは手抜きではありません。自分の時間を作り、上手に自分の肩の荷を下ろして、楽しく毎日を過ごしましょう。上手に力の抜き方がわからない方は、遠慮なく主任児童委員に相談してください。

ママの笑顔がお子様の一歩の栄養です。
（川島 麻由美）

正気地区

ふれあい広場に協力して

正気地区の地域活動の一つに「ふれあい広場」があります。これは地区社会福祉協議会が主催する行事で「区内に住む70歳以上の方」・「ゆりの木苑の方」を招待して楽しいひとときを過ごすつもりという企画です。民生児童委員もこの行事に協力しています。

平成29年10月22日には大きな被害をもたらした台風21号の接近で暴風雨という悪天候にもかかわらず出席予定者90名のところ75名が

出席されました。プログラムは正気小学校音楽クラブの「音楽発表」・アロハウィリーの「フラダンス」・関下篠笛の会の「祭り囃子」・らっこクラブの「みんなで歌い遊びましょう」・扇柳会の「舞踊」・華太鼓の「和太鼓演奏」と盛りだくさんです。

参加型のプログラムにおいてはみなさん積極的かつ元気に取り組んでおられました。弁当もほとんど完食され、そのエネルギーに主催者側も脱帽。

ずぶ濡れになったスタッフもいましたが充実感の残る一日でした。

豊成地区

民生児童委員になつての18か月

18か月

地区役員選考委員に「民生児童委員」と依頼され前向きに検討しますと回答し委嘱を受け一任期半分の18か月が過ぎました。私の担当地区は屋号で呼ぶ昔からの家が90戸、新興住宅の戸数が100戸強の地区です。私はここで生まれ育ち60数年なので前期民生児童委員より引き継いだ高齢者状況調査票などの名前等、屋号で呼ぶ家はすぐ分りますが、新興住宅地の名前と家が全くわかりません。そこで車のナビに番地を入力して住居を確認後自車で一廻りし、次回より訪問する見守り安否確認の順

路が確定です。しかし民生児童委員の活動内容にマニュアルがあるわけではないので自分なりに。また、全体研修会、地区協議会等で先輩民生委員に訪問の際の注意事項等指導を受けて頑張っております。

見守り安否確認の際、私の名前と顔が一致するように全ての一人暮らし名簿の方々に自己紹介書を持参して見守り安否確認を毎月一回実施しています。最初の見守り訪問時には簡単な挨拶のみの会話でありましたが今ではデイサービスや、お嫁さんやお孫さんと食事に行った事など嬉しそうに話して下さいます。

心配ごとでは、目の手術を病院で受けるので相談に乗ってほしいと言われ、病院ケースワーカーに相談して術後無事退院。又見守りリスト対象外高齢者夫婦より妻が救急搬送され余命宣告を受けて入院費、葬儀、葬儀料金について相談を受け（社会福祉課保護係に葬祭扶助について相談、又お寺のご住職に相談して無事葬儀を終えました。

涙ながらに相談されると、力になりたいと思い、親切とお節介の判断が難しいのですが、民生児童委員の役割の範囲を超えて相手の生活に踏み込まないように注意して活動してまいりたいと思います。これからもご指導ご協力のほどよろしくお願い致します。

福岡地区

地域との連携を より密にして

民生委員になって三期目を迎え、地域のことがなんとかわかるようになってきました。

それは「この〇〇さんが困っているよ」とか、「△△さんのポストに手紙が溜まっているから行ってみてあげたら」という情報が入ると、すぐに駆けつけられるようになってきたからなのです。

最近、高齢者(特に一人暮らし)との関わりが多い中で嬉しかった事例をいくつかあげてみます。

「今日退院してきました。ポストに何度もお手紙ありがとうございました。」と、いう電話を退院してすぐいただいたこと。

以前はポストに手紙を入れても返事のなかった一人暮らしの男性が、最近ではポストに「お元気ですか。」と書いたメモを入れておく、すぐその日のうちに、夜遅く「今、仕事から帰ってきました。」と電話をくれるようになったこと。

2月に毎年市役所から一人暮らしの調査の依頼があり、同居がわかっていても確認をしているわけですが、「変わったことがないから、毎年調査に来なくてもいいんですよ。」と、言っていた高齢の

女性が、先日「民生委員さん、苦勞様です。あそこに困っている方がいるので相談に乗ってあげてください。」との、ありがたい情報までくれるようになったこと。

5月の連休のこと、事情があつて宿泊場所がなく困っている一人暮らしの男性、20ヶ所も電話して全部満室で断られ困っていたところ、一軒だけが、素泊まりなら、引き受けてくれた民宿のおばさん、本当にありがたかったです。どれも心に残った嬉しいことです。

これからは、地域の方との連携を、より密にして頑張っていきたいと思っています。

民生委員は、法的にも情報の守秘義務がありますので、心配しないで何でも相談してください。

(飯田 光代)

源地区

民生児童委員と 地区との関わり方

最初は主任児童委員として民生児童委員の方々と会う機会をいただき、地区の為に出来る事はと考えている内、年月が経ち一期だけで何のお手伝いも出来ませんでした。

でも、今度は民生児童委員として声をかけていただき三期目となっています。私の担当は源地区の上布田です。他の地区同様若い方が少なく

一人暮らしやご夫婦のみの家庭が多くなっていますが、昔からの隣近所のお付き合いがあり、お互いにお互いを心配し見守りがされているので担当の私としてはとても有り難く感謝の気持ちで日々活動させていただいています。そうした中で児童の数が減り、幼稚園、小学校、中学校で統合あるいは休校、廃校等の問題が大きくなっており、市を交え地区全体での会合が開かれています。児童が安心して気持ちよく勉強が出来る環境を整えてあげなければと感じてもなかなか進んでいないのが現状です。都会と地方の偏り方がもう少し均一になれば、この問題も多少は解決出来るのかもと思うのですが、市町村単位で考えず、県も国も少人数校を大人数校に統合ではなく、もっと広範囲的な考えを取り入れながら児童達の先を見つめてほしいと願っています。

他地区の民生児童委員の方々と交流の中で、自分の勉強不足はもとより、いろんな事例やその対処の仕方等教えられ考えさせられた事を、地区の活動の中で生かしていきたい、地区と共に歩みたいと思います。

主任児童委員部会

朝の風景

「この頃、子ども達のあいさつ

がすごく上手にできるんだよね。朝からほんとに気分がいいわ。」

これは、友人の言葉ですが、登校のため学校近くの横断歩道を渡るうとして小学生に気づき車を停車させると、ほとんどの子ども達が渡り終えた後、車に向かってお辞儀をするそうです。横断歩道を渡り終えた子ども達の傍らには、いつも先生や保護者の方が寄り添い、一言二言声をかけているようです。

友人によると、ここ数年少しずつよくなってきているということ。ずっと以前からということではないようなので、恐らくこのような先生方や保護者の方の働きかけが安全を見守るだけでなく、子ども達の成長を促したのだらうと思われる。

子ども達に関わっている大人といっても立場は様々です。私も、主任児童委員を拝命して2年が経ちますが、様々な研修会や担当地区の学校行事等に参加して、子ども達が置かれている状況について学んできました。そして、見守ることであたり、あいさつやちょとした声かけで、心と体が救われることもあるのだと感じました。

各々ができることをやることで、子ども達が安全で、健やかに成長できる環境を整える一助になればと思います。

PR企画部会員名簿

東金東地区	三浦 礼子
東金西地区	三須 芳雄
公平地区	小川 洋子
丘山地区	内木恵美子
大和地区	黒川 榮一
正気地区	矢野 裕之
豊成地区	鷗澤 義雄
福岡地区	飯田 光代
源地区	小川てい子
主任児童委員部会	村井 寛子
会長会	宮澤 敏夫

編集後記

執筆していただきました各地区の委員の皆様には、感謝申し上げます。少子高齢化が各地区とも進む中、防災、防犯を強化していくためには、隣近所のお付き合いの重要性が増してきます。また、「笑う門には福来る」、最近この言葉が心に沁みます。笑うと免疫力の向上や脳の活性化などの効果があるようです。また、周囲の人の心を和ごみ、一層充実したものにしていきます。この様な毎日が過ごせるよう、参考になるような広報紙づくりをしてまいりますので、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

編集者一同